

遠山中学校 家庭学習の方法

3年



国語科3学年 家庭学習の進め方

①	漢字練習	<ul style="list-style-type: none">• 漢字マスターに書き込み、まず漢字を覚えましょう。• ノートに漢字練習をしましょう。 <p>熟語だけ書く人もいますが、実際に、会話や文章で使うことも考えて、短文ごと練習したほうが効果的です。</p> <ul style="list-style-type: none">• 漢字検定の5級から準2級の問題にチャレンジしましょう。 <p>漢字検定の問題集を活用すると、自分の漢字力もわかって一石二鳥です。</p> <p>漢字検定のアプリなども活用しましょう。</p>
②	文章の視写	<ul style="list-style-type: none">• 教科書の文章を視写しましょう。 <p>名文を書くことで、文章の書き方が身につきます。特に、読点（、）の打ち方がわからない人は、参考になります。</p> <p>さらに、古文は書き写すことによって、理解につながることもあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 新聞の文章を視写しましょう。 <p>朝日新聞「天声人語」読売新聞「編集手帳」などのコラム欄を活用しましょう。</p>
③	読解問題	<ul style="list-style-type: none">• 国語のワークを予習・復習で解きましょう。• 市販の問題集にチャレンジしてもよいでしょう。 <p>教科書ガイドや教科書ワークで学習の確認をすることもできます。</p> <p>定期テスト対策として活用してもいいでしょう。</p>
④	高校の過去問題	<ul style="list-style-type: none">• 公立・私立高校の過去問題を繰り返し解きましょう。 <p>文章を読む力や問題に対する答え方を鍛えるために、問題に慣れることが必要です。また、どんな問題が出やすいのか、傾向がわかります。</p>

令和6年4月16日
数学科

3年1学期の家庭学習について

1. 内容

- ①宿題があれば必ずやる。
- ①授業の復習1 ⇒授業内でやったプリントで終わらなかったところをやる。
- ②授業の復習2 ⇒授業で指示されたワークのA問題をやる。
- ③入試対策 ⇒授業で配られた公立高校入試過去問（計算問題）をやる。
※1, 2年の計算問題の復習をすすめる。
- ④入試対策・復習⇒eライブラリーをやる。
- ⑤授業の復習3 ⇒授業で指示されたワークのB問題をやる。
- ⑥教科書の確認 ⇒授業で学習したことを教科書で確認する。
また、次の授業の内容を確認する（予習）。
- ⑦授業の復習4 ⇒授業で指示されたワークのC問題をやる。

2. タイプ別取り組み方

数学が苦手な人は **計算力アップ**を目指して①～④を中心にがんばりましょう。1学期は新しい計算がたくさん出てきます。「**練習あるのみ!!!**」
がんばりましょう!!

数学が得意な人は ⑥⑦までできるとよいと思います。**ワークのC問題**は入試問題レベルなので、力がつくと思います。もちろんワークのC問題だけではなく、たくさんの難しい問題と出会うと良いと思います。
「難問こそ何問も数多く解いて…練習あるのみ!!!」です。

どちらでもない人は ⑤までがんばってみましょう。3年生の内容と、受験に向け「1, 2年の復習」もできると良いのと思います。
授業のあった日は授業の復習を、週末は入試対策を進めてみてはいいかがでしょうか。
目指せ「**日々の復習**」と「**1, 2年の復習**」の両立!!

How to study English.

はじめに

英語が苦手だ、なにがなんだかさっぱりわからない、勉強してるのによく分からないなどの悩み
その答えが見つけれられるように、どこでつまづき易いのか、どうしたらいいのか、がわかるように
まとめてみました。家庭学習で苦手な部分を無くし、英語を使いこなせるよう頑張りましょう！

英語の難しさ

英語が難しく感じる最たる理由は、**文章のルール**が日本語と違うから。「私はサッカーをした。」
が英語だと「I played soccer.」の順番に。ほかにも、「昨日なにをした?」「理科の勉強。」は変な文章
ではないのに、英語で「What did yesterday?」「Study Science.」と書いたら×になる。

そんな「なんで???'」となってしまう決まり、**文法**。一番の敵は彼です。

そして、その文法が1つ2つでなく、残念なことに、3年生になってからも増えます。

では、どうするか。一つ一つを丁寧に分けられるようにしましょう。ぐちゃぐちゃに絡まった糸は、
よく見て少しずつほどくしかありません。**1年生から振り返る**のが最も効果的で、確実です。

一年生からの復習

一文法の基礎編

復習するにも、最初から全部勉強しようとする、
とても時間がかかるので、まずはざっくりとチェック!

Lessonの終わりにある復習用に簡単にまとめられた
文法の説明です。これを読んで分からなければ、Partに
戻り、本文を読みながら文法を覚え直す。

ノートに英文と解説を書き写しながら覚え、最終的に
何も見ずに人に説明できるようになれば Perfect です。

1年生の Lesson 6 から始めると良いでしょう。
何人かのグループになって、それぞれの範囲を
決めて教え合う、なども良いですね。

Grammar 過去のことを表す文

A. I watched a soccer game on TV yesterday. B. Did you watch it?
B. Yes, I did. C. It was a good game. D. But my favorite player Kazuya didn't play.

1. 過去のことを言うとき... ①, ②

I watch a soccer game on TV every Saturday. (現在形)
I **watched** a soccer game on TV yesterday. (過去形)
It **is** a good game. (現在形)
It **was** a good game. (過去形)

2. 過去のことをたずねるとき (疑問文) ... ③

You **watched** it. Aya **was** busy.
Did you **watch** it? **Was** Aya **busy**?

3. 過去のことので「しなかった」「でなかった」ことを言うとき (否定文) ... ④

Kazuya **played** soccer.
Kazuya **didn't play** soccer.
It **was** exciting.

一文法の整理編

先ほどの方法である程度文法を理解できたら、次は他の文法と比較し、違いを明確にしましょう。
たとえば、私たちが話したり、書いたりするときは、大体が過去形です。現在形はいつ使うのか?
未来の予定でつかう will と be going to はどう違うのか、過去進行形と過去形の違いは? など。
様々な文法が登場するので、その特徴を理解すべく何度も何度も比較し、ノートにまとめましょう。
この時に、いくつか例文を書くことが大事です。過去形は～、過去進行形は～と書いてもピンと来
ないことも多いです。具体的な例を示す、これが大事です。

—語彙定着編—

英語の難しさでは、文法が一番の敵といいましたが、では二番目の敵はというと、**語彙**です。違う国の言葉ですから、いきなり difficult な vocabulary が appear しても意味がわかりません。小・中学校で習う単語の数は非常に多く、その全てを今から全部覚えるのは大変です。

なので、まずは教科書の Words & Phrases を確認し、その中の太字になっている単語だけ、チェックしましょう。

そしてこれはノートではなく、**暗記カード**で行いましょう。表は英語、裏は日本語にし、英語の意味のチェック、日本語から英単語を思い出すの2通りの使い方が出来ます。

太字の単語は、よく使われる単語なので、覚えたことによる成果は大きいです。

暗記カードは、同じやり方の人がいると、ゲーム方式で覚えることもできます。

- ①英単語の発音を聞いて、英単語カードを取る
- ②日本語を聞いて、英単語を探す、

③英語を聞いて、正しい意味のカードを探す、のようなカルタ式のほか、2組あれば、日本語の面だけ並べたもの、英語の面だけ並べたもので、神経衰弱の要領で遊ぶ、他の人とどれだけ早く、ミスを少なして全てのペアを作れるか...など。

太字だけでも覚える単語は多いため、楽しく覚えられると良いですね。

Words & Phrases	
<input type="checkbox"/> update (d)	buffalo (es) バッファロー
<input type="checkbox"/> yesterday	geyser (s) 間欠泉
<input type="checkbox"/> parent (s)	<input type="checkbox"/> shot < shoot
<input type="checkbox"/> came < come	<input type="checkbox"/> out
<input type="checkbox"/> built < build	shoot out 噴き出す
<input type="checkbox"/> tent	<input type="checkbox"/> minute (s)
build a tent テントを組み立てる	huh
<input type="checkbox"/> slept < sleep	Cool, huh? かっこいいだろう。
<input type="checkbox"/> last	kind of ~ ちょっと~
<input type="checkbox"/> last night	<input type="checkbox"/> scary

—動詞活用編—

様々な単語があり、それを覚えることも大事ですが、その中でも一苦勞するのが、**動詞**です。非常に数が多いだけでなく、過去分詞形も含めた活用パターンの暗記や、正しいスペル(つづり)を覚えなくてはなりません。これは、3年生になると、非常に重要度があがるため、今の段階から地道に積み重ねて行きましょう。

特に、write - wrote - written のような**不規則変化動詞**は、スペル・活用の両方で大変ですし、種類は少なくありません。

単語と同じように意味を覚えることに加え、**現在形 - 過去形 - 過去分詞形**の3つを

1セットにし、リズムで覚えると良いです。

また、以外と忘れてしまうのが y で終わる動詞の変化です。

1年生で習う study の過去形は、studied? studied? と、テストなどで悩まないように、しっかりと振り返りましょう。

● A-A-A型				
原形	現在形	過去形	過去分詞形	現在分詞形
cut	cut	cut	cut	cutting
let	let	let	let / letten	letting
read [ri:d]	read	read [rɛd]	read [rɛd]	reading
set	set	set	set	setting
● A-B-A型				
原形	現在形	過去形	過去分詞形	現在分詞形
become	become	became	become	becoming
come	come	came	come	coming
run	run	ran	run	running
overcome	overcome	overcame	overcome	overcoming
● A-B-B型				
原形	現在形	過去形	過去分詞形	現在分詞形
bring	bring	brought	brought	bringing
build	build	built	built	building
burn	burn	burned / burnt	burned / burnt	burning
buy	buy	bought	bought	buying
catch	catch	caught	caught	catching
feel	feel	felt	felt	feeling
fight	fight	fought	fought	fighting
find	find	found	found	finding
have	have	had	had	having
hear	hear	heard	heard	hearing
have	have	have / having	had / having	having

理科の家庭学習方法 3年の内容学習編

3年____組____番 氏名_____

① 学習した内容は

「即！その日のうちに！！家庭学習で復習！！！」だ！

3年生で学習する内容は、後でまとめて学習する時間取りにくい・・・(T_T)理由は、同時に1・2年生の復習も行わなければならないからだ・・・<(_ _)>

よって、3年生の学習内容は**「即！その日のうちに！！家庭学習で復習！！！」**が大前提である。(他の教科も同じことが言えます。)

毎回の授業で、必ず家庭学習の指示をします。内容は、授業であつかった内容の復習ができるようにします。必ず、帰宅後に家で家庭学習として頑張りましょう！ぜっっっつたいに力がつき、受験の時に君を助けます。未来の自分を助けられるのは今の自分だ！！コンスタントに行いましょう。

② 家庭学習の内容

Aパターン：授業で学習した内容に関連する**理科ノートのページ**

Bパターン：授業で学習した内容に関連する**プリント**（重岡の自作か、eライブラリの問題をプリントしたもの）

Cパターン：授業で学習した内容に関連する**eライブラリの問題をタブレットで行う。**

いずれのパターンも次の授業で提出してチェックを受けて下さい。

皆さんの頑張りを評価の対象にします。

理科の家庭学習方法 受験勉強内容学習編

3年 組 番 氏名 _____

理科は実力がつきやすい教科である！

理由→物理・化学・生物・地学の分野がそれぞれ独立している。1つの分野、1つの単元を集中して頑張ると点数アップの可能性大の大大！！

キーワードは「**しらみつぶし**」と「**伸びしろですわね～**」

3年間で学習する単元	1年	2年	3年
物理	身近な物理現象	電流とその利用	運動とエネルギー
化学	物質のすがた	化学変化と原子・分子	化学変化とイオン
生物	生物の世界	生物の体のつくりとはたらき	生命のつながり 自然界のつながり
地学	大地の変化	気象のしくみと天気の変化	地球と宇宙
科学技術 環境問題			地球の明るい未来のために

※物理：1年→2年→3年へリンク
 ※化学：1年→2年→3年へリンク
 ※生物：1年→2年→3年へリンク

ステップ1 自己分析 → 授業で行います

どの単元・どの内容がどれ位の理解度なのかを判定する

- 教科書の単元のまとめで用語チェック！分かっていたら✓をつけていこう！全ての学年・単元をやるう！（しらみつぶし）
- 理解度が小さい単元を見いだす（伸びしろですわね～）

キーワード

- 物質
- 有機物
- 無機物
- 金属に共通の性質
- 非金属
- 密度

1章 いろいろな物質 (p.80~p.91)

- ものをつくっている材料に注目するとき、それを物質という。
- 加熱すると黒く焦げて炭(炭素)になったり、二酸化炭素を発生したりする炭素を含む物質。
例 砂糖, プラスチック, 紙, プロパンなど
- 有機物以外の物質。
例 食塩, 鉄, 銅, ガラス, 酸素, 水など
- ①磨くと輝く(金属光沢)。
②たたくと広がる(展性)。引っ張るとのびる(延性)。
③電流が流れやすく、熱が伝わりやすい。
- 金属でない物質。
- 一定の体積当たりの質量。

$$\text{密度 [g/cm}^3\text{]} = \frac{\text{物質の質量 [g]}}{\text{物質の体積 [cm}^3\text{]}}$$

正解したら、理解していたら✓しよう！

キーワードの部分を下敷きなどで隠して、右の説明の部分から正解を出せるか、または理解しているかを判断しよう！

ステップ2 自己分析の結果から下の3パターンで学習だ！

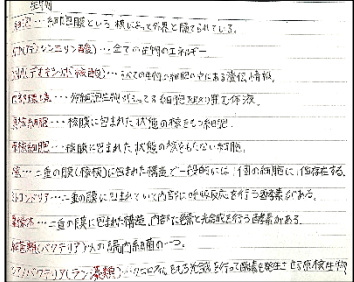
視覚・聴覚・運動の3
つで脳を刺激しよう

Aパターン まとめの用語で分からなかったところが多かったから、用語を理解しよう！

- ①必要なもの：教科書、家庭学習ノート
- ②やり方 (1)教科書の単元のまとめの語句と説明文をノートに書きながら、声に出しながら覚えよう。
分からない用語が載っている教科書の内容をしっかりと読む。
☆大切なところは声に出しながら蛍光ペンを引いたり、家庭学習ノートに書いて覚えよう

(家庭学習ノートの例)

・**物質**…ものをとっている材料に注目する時、それを物質という。
・**有機物**…加熱すると、黒く焦げて炭(炭素)になったり、二酸化炭素を発生した)する炭素を含む物質
例：砂糖、プラスチック、紙、プロパンなど
・**無機物**…有機物以外の物質
例：食塩、鉄、銅、ガラス、酸素、水など



- (2) 覚えたら、再度教科書の単元のまとめの用語チェックに取り組んで、理解度が上がったかどうか確かめよう。☆正解率が上がったなら**Bパターン**へレッツゴー！

Bパターン 用語は理解できるので問題を解いて理解度アップだ！

- ①必要なもの：タブレット、教科書、家庭学習ノート
- ②やり方 (1) タブレットの「**L-Gate**」の「**ライブラリ**」の「**中学校単元別プリント**」を選択。“学びたい単元の学年”と“理科”を選択。取り組みたい内容の問題を選択。必ず「表示されない場合こちらをクリック」をクリック。問題が出てくるので、家庭学習ノートなどに取り組む。解答は「表示されない場合こちらをクリック」のページの右側にある。
※解説がないので、分からないところは教科書で調べるか、友人か重岡に質問だ！
(2) 一度で終わらず、何度もやってみよう。また、[基本]より[標準]の方が難しいのでチャレンジしよう。☆正解率が上がったなら**Cパターン**へレッツゴー！



Cパターン 問題も分かりそうなので、入試問題にチャレンジだ！

- ①必要なもの：タブレット、家庭学習ノートなど、教科書（復習用）
- ②やり方 (1) タブレットの「**L-Gate**」の「**ライブラリ**」の「**高校入試過去問データベース**」を選択。
都道府県→千葉県 **年度**→全て **教科**→理科 **難易度**→全て **傾向**→全て
解答形式→しない **大分類**→取り組みたい分野(物理・化学・生物・地学)
中分類→「理科 理解度・頑張り記録」を参考に単元や章を選択
小分類→「理科 理解度・頑張り記録」を参考に章を選択
取り組みたい内容の問題を選択。必ず「表示されない場合こちらをクリック」をクリック。問題が出てくるので、家庭学習ノートなどに取り組む。解答は「表示されない場合こちらをクリック」のページの右側にある。
取り組んだ年度を上段に、どのくらい正解したかを「 / 」に「6 / 8」のように下段に記録しよう。
※解説がないので、分からないところは教科書で調べるか、友人か重岡に質問だ！
(2) 一度で終わらず、何度もやってみよう。また、[基本]より[標準]の方が難しいのでチャレンジしよう。☆正解率が上がったなら**Sパターン**へレッツゴー！



Sパターン 他の都道府県の過去問にもチャレンジだ！

社会科の家庭学習方法

社会科は「暗記科目」です。一つずつ覚えていくしかありません。覚えていく中で行ってほしいことは、「その言葉が、どのような問題の答えになるのか」ということとセットで頭にインプットすることです。

(例)

覚える言葉	問題文
徳川家康	1603年に、朝廷から征夷大将軍に任命され、江戸幕府を開いた人物は誰か。

「暗記科目」である社会科はインプットしただけで終わってはいけません。それは、少しずつ忘れていってしまうからです。忘れないためには「アウトプット」することが大切です。アウトプットの方法としては、「問題演習」「人に説明をする(伝える)」などがあります。

インプットの方法① 「教科書を読む」

【必要なもの】教科書、蛍光ペン

【流れ】①教科書を読む(1回目)…可能であれば、声に出して読む。

②教科書を読む(2回目)…蛍光ペンを持ち、重要語句(太字)に線を引く。

③教科書を読む(3回目以降)…挿入されている資料(地図、写真、グラフ等)にも目を向ける。

【注意点】●「ただ読むだけ」にならないようにしましょう。

●「一度読んだから終わり」にならないようにしましょう。



インプットの方法② 「先生になったつもりで、もう一度、ノートに書く」

【必要なもの】教科書、授業用ノート、(別のノート:家庭学習帳など)

【流れ】①教科書を読む。

②授業でノートに書いたものをもう一度書く。

・反対側のページに書く。

・別のノートを用意できる場合はそのノートに書く

【注意点】●「きれいに書くこと」が目的にならないようにしましょう。

●「わからない言葉」や「説明できないところ」があった場合は、そのままにはせず、「次の日」に必ず先生に確認をしましょう。



インプットの方法③ 「問題文をつくる」

【必要なもの】家庭学習帳、教科書、授業用ノート、ワークやタブレット(「eライブラリ」のドリル)

【流れ】①授業でノートに書いたものを確認する

②家庭学習帳に上で示した(例)のような線を引き、「覚える言葉」と「問題文」を書く

※「問題文」については、「教科書の文言」や「自分で考えた言葉」、「ワークの問題文」、「eライブラリのドリルの問題文」などを参考にするといい

③「覚える言葉」を隠しながら「問題文」を読み、問題演習を行う

【注意点】●「問題文」は「1つだけ」ということはありません。

●「ワーク」や「eライブラリのドリル」にも定期的に取り組みましょう。